



平成 29 年度 泉大津市予算

一般会計は前年度比 3.7%減の 263 億 7,146 万円

【平成 29 年度予算の内容】

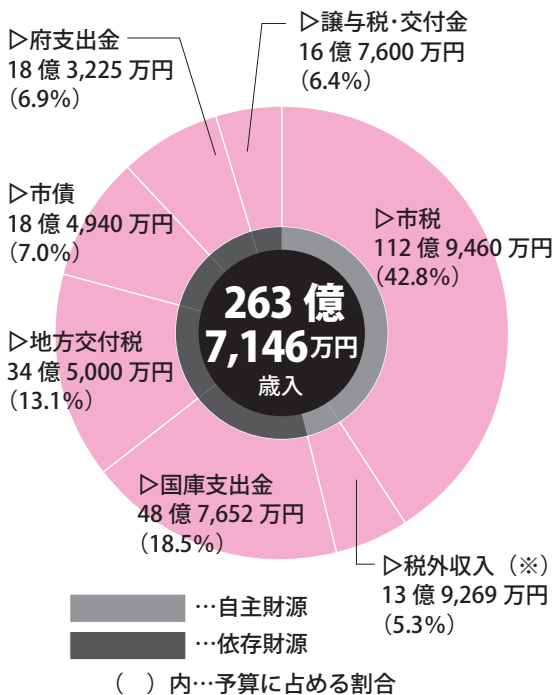
一般会計をはじめとする平成 29 年度当初予算が 3 月議会で可決されましたので、その概要をお知らせします。

一般会計、特別会計、企業会計の全会計における総額は、前年度比 2.6%減の 566 億 7,199 万円、うち一般会計は前年度比 3.7%減の 263 億 7,146 万円となっています。

一般会計において、前年度比 10 億 2,050 万円の減となっているのは、臨時福祉給付金等給付事業の減や南海本線連続立体交差事業、体育館施設整備事業、旭小学校増改築事業などの減が主な要因です。

■ 平成 29 年度 当初予算 ※表示単位未満を四捨五入している関係で、計が一致しないことがあります

会計名	平成 29 年度 (A)	平成 28 年度 (B)	増減額 (A - B)	増減率
一般会計	263 億 7,146 万円	273 億 9,196 万円	▲10 億 2,050 万円	▲3.7%
特別会計	212 億 7,146 万円	216 億 3,465 万円	▲3 億 6,319 万円	▲1.7%
企業会計	90 億 2,907 万円	91 億 8,127 万円	▲1 億 5,220 万円	▲1.7%
計	566 億 7,199 万円	582 億 788 万円	▲15 億 3,589 万円	▲2.6%



※税外収入…諸収入、使用料および手数料、繰越金、分担金および負担金、財産収入、繰入金、寄附金

■ 一般会計の市債と基金の残高見込み (平成 29 年 2 月現在)

市債残高	286 億 4,263 万円
基金残高	26 億 6,334 万円

■ 歳入の概要

歳入は、市税や使用料・手数料など地方自治体の権限で収入できる財源「自主財源」と、地方交付税や国府支出金など国や府の意思決定に基づき交付される財源「依存財源」に分けることができます。

【自主財源】

自主財源は、前年度と比較して 0.8%増の 126 億 8,729 万円 (1 億 355 万円の増)、歳入全体の 48.1%と見込みました。このうち、自主財源の柱である市税は、個人市民税の増収を見込み、3.2%増の 36 億 5,025 万円 (1 億 1,220 万円の増) としました。

また、税外収入については、前年度と比較して 4.1%減の 13 億 9,269 万円 (5,905 万円の減) としました。

【依存財源】

依存財源は、前年度と比較して 7.6%減の 136 億 8,417 万円 (11 億 2,405 万円の減)、歳入全体の 51.9%と見込みました。この主な減の要因としては、年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費補助金や小学校整備事業費交付金の減、南海本線連続立体交差事業に伴う委託金の減などにより、国や府からの支出金が減となることや、市債を 18 億 4,940 万円 (7,660 万円の減) と見込んだことによるものです。

地方消費税交付金については 12 億 8,000 万円 (1 億 700 万円の減) と見込み、このうち 5 億 2,700 万円 (4,400 万円の減) は社会保障財源交付金として、障がい福祉事業などの社会保障関連経費に充てられます。

■ 歳出の概要

地方自治体の歳出を分類する方法には、経済的性質に分類した「性質別経費」と、行政目的に分類した「目的別経費」があり、それぞれ右のグラフのとおりとなっています。

地方自治体の経費を性質別にみると、「義務的経費」・「投資的経費」・「その他の経費」に分類することができます。「義務的経費」とは支出が義務付けられており、任意に節減することのできない経費（人件費・扶助費・公債費）で、「投資的経費」とは学校や道路などの建設・整備に要する経費です。そして、歳出全体から「義務的経費」および「投資的経費」を除いた経費を「その他の経費」としています。

■ 性質別内訳

【義務的経費】

義務的経費は、前年度と比較して 1.9%減の 155 億 3,534 万円（3 億 82 万円の減）、歳出全体の 58.9%としました。扶助費については、生活保護費のほか、高齢者、児童、障がい者などに対する社会保障関係費として 2.7%減の 83 億 9,430 万円（2 億 3,021 万円の減）、人件費は 0.6%減の 40 億 5,986 万円（2,393 万円の減）と見込み、市債の償還に係る公債費については、1.5%減の 30 億 8,118 万円（4,668 万円の減）と見込んだことによるものです。なお、直近 5 年間の扶助費の推移については下のグラフをご参照ください。

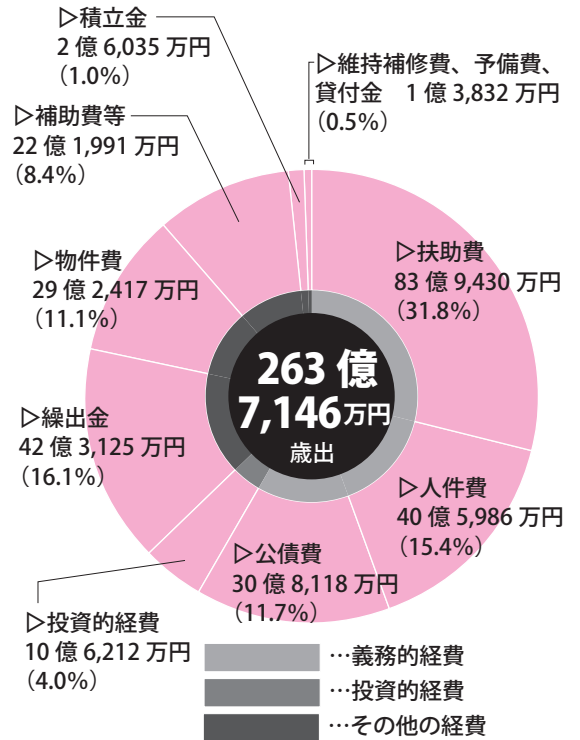
【投資的経費】

投資的経費は、前年度と比較して 38.1%減の 10 億 6,212 万円（6 億 5,509 万円の減）、歳出全体の 4.0%としました。これは、（仮称）えびす認定こども園施設整備事業、消防庁舎移転にかかる通信機器移設工事、中央線跨線橋の橋りょう補修事業が増となる一方、南海本線連続立体交差事業、体育館施設整備事業、旭小学校増改築事業、自転車等駐車場整備事業の減などを見込んだことによるものです。

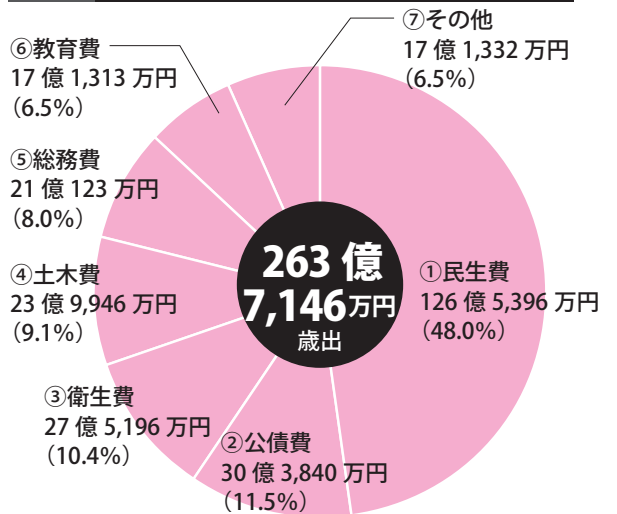
【その他の経費】

その他の経費は、前年度と比較して 0.7%減の 97 億 7,400 万円（6,460 万円の減）、歳出全体の 37.1%としました。これは、病院事業会計繰出金を 9 億円（7,610 万円の増）、下水道事業特別会計繰出金を 13 億 1,396 万円（1 億 3,788 万円の減）、国民健康保険事業特別会計繰出金を 8 億 8,140 万円（7,464 万円の減）など見込んだことによるものです。

歳出 使いみちの「性質」別内訳グラフ

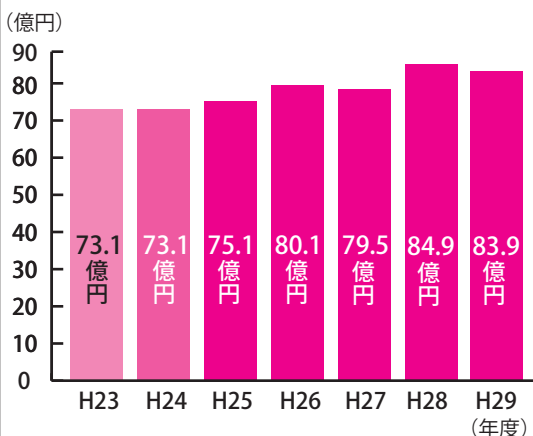


歳出 使いみちの「目的」別内訳グラフ



■ 扶助費の推移

H23~27 は決算、H28 は決算見込み、H29 は当初予算



歳出 市民一人あたりの予算

平成 29 年度の歳出予算額を、市民 1 人あたりに置き直すと…
※平成 29 年 1 月 1 日現在 住民登録人口 7 万 5,549 人で計算

●市民一人あたりの歳出額…34 万 9,064 円(11,917 円の減)

①民生費（高齢者や障がい者、児童の福祉に）	16 万 7,493 円	(2,378 円の増)
②公債費（借入金の返済に）	4 万 218 円	(439 円の減)
③衛生費（ごみ処理や病気予防に）	3 万 6,426 円	(1,135 円の増)
④土木費（道路・河川・公園整備に）	3 万 1,760 円	(8,838 円の減)
⑤総務費（窓口業務や税金徴収に）	2 万 7,813 円	(421 円の減)
⑥教育費（学校、公民館、生涯学習に）	2 万 2,676 円	(8,182 円の減)
⑦その他（消防活動、防災、議会運営、商工、農林水産業に）	2 万 2,678 円	(2,450 円の増)

平成 29 年度の歳入における市税予算額を市民 1 人あたりに置き直すと…
※平成 29 年 1 月 1 日現在 住民登録人口 7 万 5,549 人で計算

●市民一人あたりの市税負担額…14 万 9,500 円

29 年度の本市一般会計当初予算を、家計簿におきかえてみると…？

おづみんの家計簿

ここでは、泉大津市の平成 29 年度の予算を「おづみんの家計簿」に置き換えています。イメージがつきやすいように 5,000 分の 1 に縮小してみました。家計簿なので単純に比べられないところもあります。あくまでも参考としてご覧ください。



歳入 おづみんの「収入」

収入の内容	収入額
会社からの給料	226 万円 (3 万円)
パート・家賃収入	11 万円 (±0)
実家からの援助	237 万円 (▲21 万円)
不動産収入	9 万円 (±0)
銀行などからの借入金	37 万円 (▲2 万円)
貯金の取崩し	8 万円 (▲1 万円)
前年度からの繰越	200 円 (±0)
1 年間の収入合計	528 万 200 円 (▲21 万円)

※() 内は前年度比

歳出 おづみんの「支出」

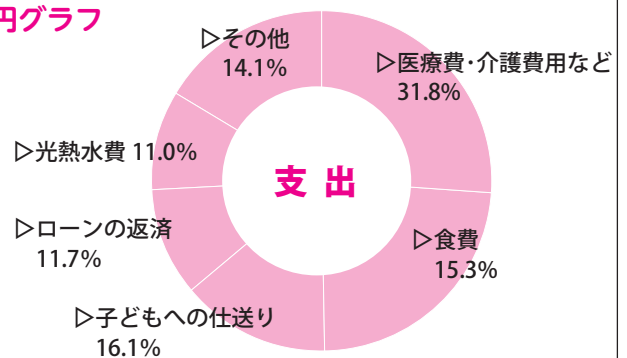
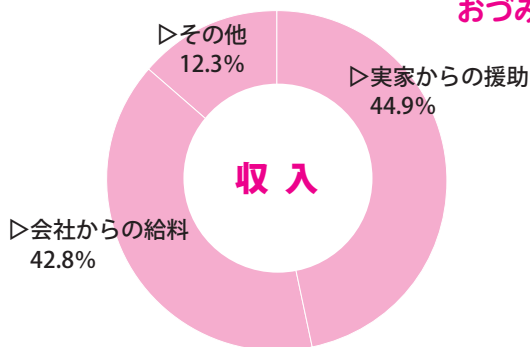
支出の内容	支出額
食費	81 万円 (▲1 万円)
光熱水費	58 万円 (▲2 万円)
医療費・介護費用など	168 万円 (▲3 万円)
ローンの返済	62 万円 (▲1 万円)
家・車の修理代など	3 万円 (±0)
会費・お祝い金など	45 万円 (1 万円)
子どもへの仕送り	85 万円 (▲2 万円)
家の増改築・車の購入代など	21 万円 (▲13 万円)
友人へ貸したお金	200 円 (±0)
貯金	5 万円 (±0)
1 年間の支出合計	528 万 200 円 (▲21 万円)

※() 内は前年度比

おづみんのローンと貯金 (平成 29 年 2 月現在)

ローン	573 万円 (▲17 万円)
貯金 (現金)	53 万円 (3 万円)

おづみんの家計簿の円グラフ



財政用語解説【歳出一目的別】

今回は歳出の行政目的別に分けた際の名称について解説します。

議会費

市議会に関する経費です。

総務費

市の運営経費や広報、統計調査、税、戸籍、選挙などの経費です。

民生費

高齢者や障がい者、子どもの福祉に関する経費や国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療への各特別会計に対する繰出金事業などの経費です。

衛生費

保健衛生や清掃費、火葬場の維持管理、市営墓地の維持管理、病院事業会計繰出金事業などの経費です。

農林水産業費

農業や水産業の振興などの経費です。

商工費

商工業の振興や労働者対策などの経費です。

土木費

道路、河川、港湾、公園、都市計画事業、下水道事業会計繰出金事業、市営住宅管理運営などの経費です。

消防費

消防体制の維持や消防活動の経費です。

教育費

学校教育や社会教育・スポーツ・文化などの経費、生涯学習施設の運営経費などがあります。

公債費

市債返済のための経費です。

予備費

予定していない急を要する費用に充てるための経費です。

諸支出金

他の支出科目に含まれない経費をまとめたものです。

(例) 土地取得事業特別会計繰出金事業などがあります。